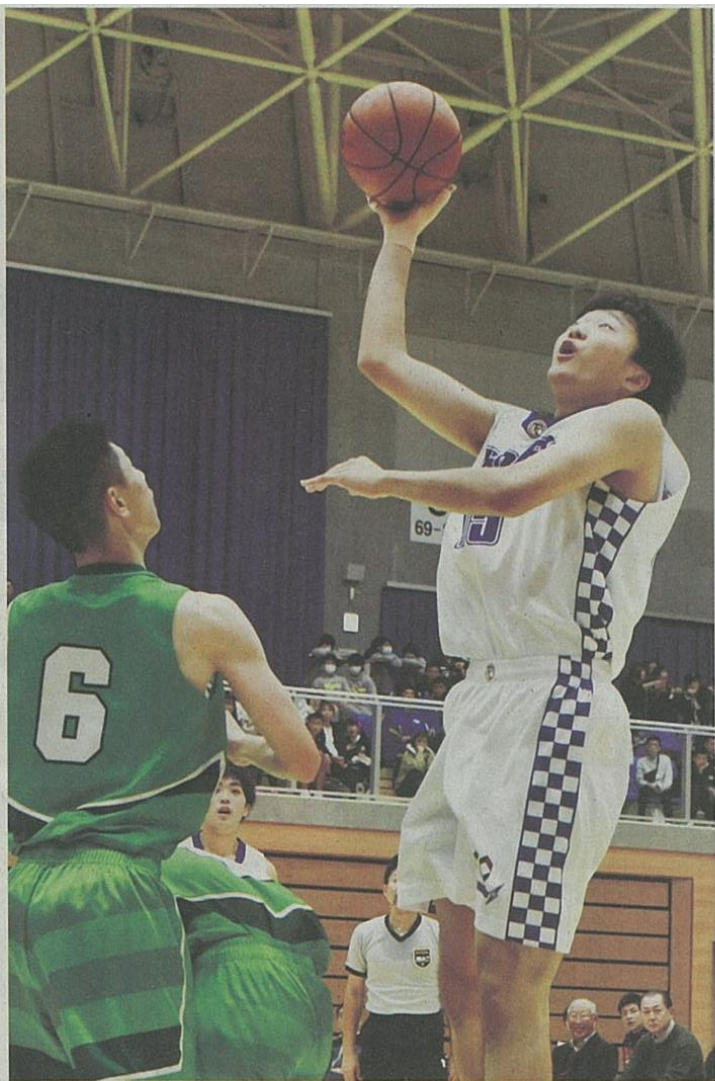


# 光星男女ともV

バスケットインターカップ 青森県予選  
 第72回全国高校バスケットボール選手権（ウインターカップ）青森県予選最終日は27日、三沢市国際交流スポーツセンターで男女の準決勝と決勝を行い、八学光星（右）の出場権を獲得した。



【男子決勝・八学光星―弘前実】第2クォーター、八学光星の荒木陽翔（右）がシュートを決め、39―29とする。三沢市国際交流スポーツセンター

## 荒木 攻守で存在感

〇…男子を制した八学光星の立役者の一人は荒木陽翔（2年）。188センチの長身を生かし、攻守のリバウンドで存在感を発揮した。

決勝では序盤からゴールを重ねチーム最多の19点を挙げた。「周りのアシストがあったおかげ」と謙遜しつつも、勝利に貢献するプレーに笑顔があふれた。

1、2年が主体。インターハイ後に主力の3年数人が抜け、最初はまとまり切れないチームだったが、練習試合を重ねて一体感が生まれた。黒澤涼月主将（2年）は「（勝つ）自信はあった」と晴れやかな表情。ウインターカップに向け「しっかりチームをまとめて総力戦で戦おう」と意気込んだ。

【男子】		【女子】	
準決勝	決勝	準決勝	決勝
八学光星	弘前実	八学光星	柴田
90	82	59	85
31	45	11	38
10	82	16	84
16	工大	14	弘前
19	大一	12	八戸
	田	8	北
	柴田		前
	弘前		実
	田		田

ドがさえ、後半も着実に加えて柴田に12点差をつけられたが、粘りのプレーで徐々に点差を詰め、劇的な逆転勝利を収めた。（齋藤桂）